

令和4年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	来て、見て、触って、やってみて。生坂リノベーション塾！
事業主体 (連絡先)	生坂村 (担当：村づくり推進室 0263-69-3111 (直通))
事業区分	地域協働の推進
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	3,774,829 円 (うち支援金：2,884,000 円)

事業内容

移住促進のための「住まい」の整備として空き家資源の利活用を促進するとともに、快適な「住まい」づくりによる省エネルギーを推進することを目的とし、リノベーション塾や空き家セミナーを開催した。

○空き家 DIY リノベーション塾、断熱 DIY 塾
日時：8月～11月の週末 (全16日)
参加者：延べ74名

○住まいの「終活」セミナー
日時：2月中全6回
参加者：58名

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

●住民の手により住宅が生まれ変わる過程を目に見える形で発信できたため、空き家バンクへの登録が増えた。

●村広報誌への記事掲載や、パンフレット作成を通じて、空き家資源の活用や放置空き家としないための意識啓発ができた。

●空き家バンク登録数前年度比 120%超
(11件→14件)
空き家バンク相談件数 110%超
(17件→20件)

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

●リノベーション塾は今年度で終了となるが、リノベーションの技術や知識は村として蓄積させ、今後、事例紹介の取組や、移住者への紹介として繋げていく。また、実際に自分でやりたい方へ向けて、情報提供を行う。

●断熱化の取組を定期的に紹介し、ゼロカーボンへの取組を推進する。

●村内の空き家の、空き家バンクへの一層の登録推進と、空き家になる可能性がある世帯への働きかけを引き続き行っていき、空き家の増加の曲線を緩やかにしていく。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある



【断熱 DIY の施工】

【目標・ねらい】

- ①自発的な住民協働の取組
- ②空き家の適正管理と利用促進の意識付け
- ③断熱化 DIY によるゼロカーボンへの取組

※自己評価 【A】

【理由】

- ・リノベーション塾を通して、空き家バンクへの登録を後押しできた。
- ・空き家とならないための意識啓発を効果的に周知できた。